

平成 30 年度 卒業証書授与式 式辞

4月にあなたと出会って以来、いくつかの話をしてきました。最初の話覚えていらっしゃるでしょうか？商業高校の生徒だからということで、簿記の仕訳にたとえて話しました。

「借方 現金 貸方 努力」

「メシが食えるオトナになろうよ」

常に自分に問いを立てよう。そんな話でした。物事には必ず、入ってくるもの、出ていくものがあり、原因と結果があります。人生もまた同じです。あなたが高校生活で大切にしてきたことは何ですか？

自分の身の内側にしっかり刻み込んだものがあるなら、それがあなたの財産となります。その財産を手に入れるために、何か行動を起こしたはずです。在学中の成績や取得した資格は数値化されているので分かりやすいでしょう。部活動の成績もそうです。たゆまぬ努力の成果です。

悔しい思いをしたことだってあったはずです。でも、良かったことも悪かったことも、数字で示せることは、その時点での結果でしかありません。大切なのは、その結果を未来へどう繋げるかです。人生はその繰り返しです。あなたがこれから大切にすべきことは何ですか？

数値化できない、目に見えないモノやコトに心を向けること。ヒトやモノ、コトと向き合い、そこに心を指し向けることを「志」と言います。この世に生を受けてから今日この日までのことを考えてください。

親が子に対して抱く思いは数えられますか？数字で示せますか？ひとつ、ふたつ、みっつ、100 kg？……違いますよね。友達からもらった思い、誰かに親切にしてあげたこと
思いやり 3級、2級、1級？ そうじゃないですよ。決して測ることなんてできません。

木の幹や枝や葉っぱ、花や果実は目に見えます。地中にある根っこは見えせん。木と同じように、私たちの心には根っこがあるんです。見えないところで根っこを太く長く伸ばさなければいけない。成功しても失敗しても、必ずそこには学びがあります。

そこを意識して粘り強く取り組むと根っこが太くなるんです。太いねっことは吸収力があるから、栄養のあるところを探してどんどん伸びていきます。大切なものが何であるか気付いた時、人は心の根っこを、そこへ向けて伸ばしていくんです。

心の中は見えないけれど、形にする方法があります。それは、言葉にすることです。今日、家に帰ったら、たった一言でいいから、家族に伝えてください。ありがとうって。

借方 家族の思いやり 貸方 感謝の気持ち

聞いた言葉、読んだ言葉が心をつくります。

話した言葉、書いた言葉が未来をつくります。

もらった恩をみんなでリレーして未来へ繋いでいきましょう。

自分のためだけじゃなく、誰かのため、社会のためという志、正義が持てるようになりたいですね。

大丈夫、同窓の先輩たちが応援してくれます。

私も人生を生きる同志としてこれからも、あなたを応援します。卒業おめでとう。

平成31年3月1日

市立札幌啓北商業高等学校 校長 鈴木 恵一